



# INNOVATION

## Venture for the Future

### マイクロクレジット型金融の可能性

慶応義塾大学2年 古川慎悟 中平健太

私たちの目指すもの

イノベーションによる日本経済成長

INNOVATION

目標達成のために

ベンチャー企業の資金調達を容易にする

# フローチャート

**ベンチャー企業は資金調達が困難**

**なぜなら**

**情報の非対称から生じる4つの要因**

**そこで！**

**4つの特徴からなるマイクロクレジット型金融**

**結果！**

**資金調達容易に！！**

# なぜベンチャー企業か？

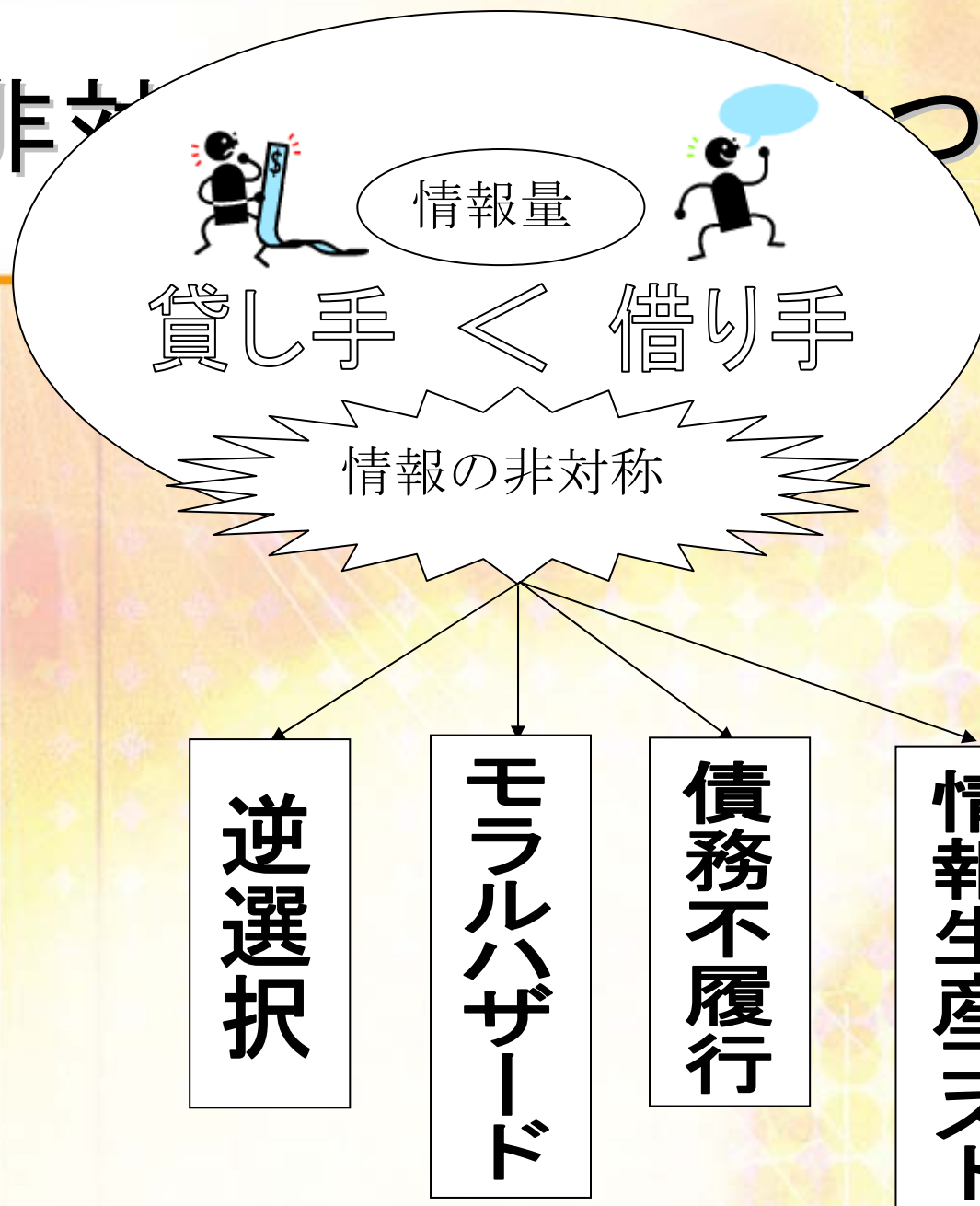
- 日本経済の持続的成長には
- イノベーションが必要！
- ベンチャーはイノベーションの担い手  
Ex. Google, Amazon, Microsoft

# しかし！！

- ベンチャー企業は融資を受けにくい
- なぜか？
- ベンチャー企業は...
- 大・中小企業よりも、
- 情報の非対称が存在するから

# 情報非対称

# の要因



# そこで！

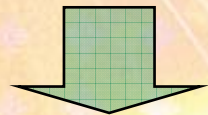
- これら4つの要因を克服するためにマイクロクレジット型金融を考えた。
- 以下、マイクロクレジットの4つの特徴によって説明する。

# 1. グループ融資

- 融資対象は個人でなく5人のグループ全体
- グループは構成員の債務に関して連帯責任
- 利点：逆選択を回避できる
- 債務不履行リスクの分散
- 相互監視
  - 情報生産コスト・モラルハザード軽減
- 欠点：フリーライダーの発生

## 2. 返済状況の公開

- 毎週の返済状況を閲覧可能に
- 来期に組む企業の選考材料に



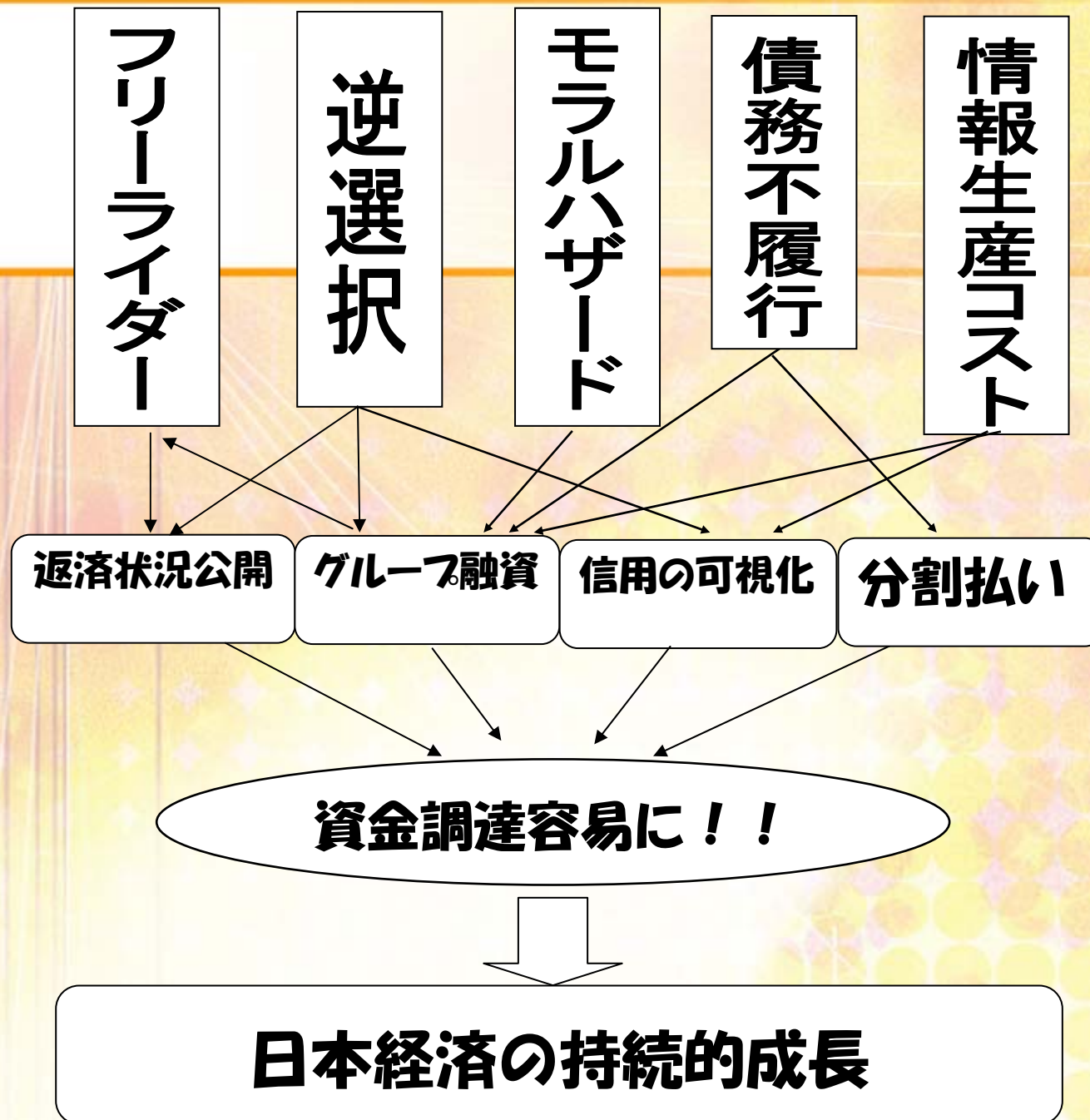
- フリーライダーの防止

# 3. 信用の可視化

- 返済実績を信用数として数値化
- 信用数に応じ、低金利で大規模な融資が可能
- 返済するインセンティブが高まる
- 信用評価を定量的に行える
- 逆選択が防げる

## 4. 分割払い

- 支払猶予期間なし＋回数の多い分割払い
- Ex.  $300\text{万} \div 60\text{週} = 5\text{万} (+ \text{利子})$
- 利点：債務不履行リスクの軽減
- 参加者の返済習慣化
- 欠点：利益回収と返済の時期の差が大きい



# 参考文献

- 伊藤修『日本の経済 歴史・現状・論点』、2007年、中公新書
- 池尾和人『開発主義の暴走と保身』、2006年、NTT出版
- 黒崎卓、山形辰史『開発経済学：貧困削減へのアプローチ』、2003年、日本評論社
- 『中小企業研究』2005年第2号、村本孜「イノベーションと中小企業金融」
- 後藤晃『イノベーションと日本経済』2000年、岩波新書
- Paul Krugman, Space The Final Frontier .Economic Perspective Vol,12(2)
- 161~174(1998)
- グラミン銀行HP  
(<http://www.grameeninfo.org/bank/GBGlance.htm>)